

これからの修学旅行を考える—コロナ禍を経て

週刊



宿泊・旅行業・運輸・自治体(観光全般)

第2部

中学校教育旅行 特集

全国修学旅行研究協会は7月23日、第41回全国修学旅行研究大会を東京都内で開催し、その中で「これからの修学旅行を考える—コロナ禍を経て」と題した討論を行った。コロナ禍によって修学旅行の意義が再度確認されたが、多くの課題も生じている。当り前の修学旅行が当たり前でなくなってきたのが現状だ。討論会では、修学旅行を実施する学校側、受け入れ側、さらにその調整役という者の代表により、これからの修学旅行を来場者とともに考えた。

全国修学旅行研究協会 主催

第41回全国修学旅行研究大会 討論

《登壇者》

前栃木県中学校長会会長

増山孝之氏

京都市 金波樓代表取締役社長

井上義一氏

全修協常務理事、関修委事務局長

岡田俊二氏

《進行》

全修協名古屋事務局長、東海修委事務局長

関口大介氏



討論の様子



井上氏



岡田氏



関口氏

増山 学校が感じている懸念の中の一つは、旅行価格から見た修学旅行の在り方である。栃木の確保が今後十分にできず、実は7万円台、高

増山 旅費高騰や交通手段確保など懸念 東北、北海道、北陸への方面変更も 岡田氏

関口 今、栃木県の話 先ほどもお話をしたが、6月が少し増えている。それ

増山 旅費高騰や交通手段確保など懸念 東北、北海道、北陸への方面変更も 岡田氏

増山 旅費高騰や交通手段確保など懸念 東北、北海道、北陸への方面変更も 岡田氏

関口 今、栃木県の話 先ほどもお話をしたが、6月が少し増えている。それ



増山氏

増山氏 今年も電車が三河安城で止まり、同じ校長が乗って、でも昨年と比べて、JRや旅行業者の情

Advertisement for Ajinomoto's frozen food products, featuring allergen information and menu items like chicken nuggets and dumplings.